

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
18104007	光電子分光によるバルク金属－絶縁体転移の解明	菅 滋正（大阪大学・大学院基礎工学研究科・教授）	A
<p>表面特有の電子状態ではなく、物質内部、すなわちバルクの電子状態に敏感な高分解能光電子分解法の確立を目指しての3つの当初計画のうち、硬 X 線電子分光では 100 Å 深さまでのバルク電子状態の高精度測定が可能になっている。軟 X 線分光では共同利用施設での制約もあり、期待された分解能の達成は十分ではないものの、これまでの公表論文の大部分を占める成果は挙げられている。</p> <p>今後は開発を進めた極低エネルギー光源を用いた測定でも研究成果を出し、当初の目的が達成されることを期待する。</p>			